

えんちょう先生の わくわくだより NO. 1



H30. 4.



3月に卒園した新一年生がピカピカのランドセルを背負って、集団登校をする姿にがんばれ！と応援しながら見守る日々。岩村こども園も新入児を迎え入れ、126名元気に平成30年度のスタートを切りました。朝の登園時、「ママー」「ママがいい～」と泣く未満児のちびっ子や新3才児、例年4月の園風景ではありますが、少しでも不安を和らげたり、何とか早く遊びを見つけてほしいと、園全体で、丁寧に見守る日々が続いています。朝は泣いて先生から離れられない子も、園庭に出れば、他の友達がにこにこことままごとやボールで遊んでいるから、泣くのも忘れて見入って黙れたり、つい走り出して一緒に混ざっていたり等、一人二人と先生の手から離れていきます。中には、砂場で大きなダム作りの年長さんに混ざってスコップを片手に土を掘り返す年少さん、せっかく年長さんが掘った穴にどンドン土を崩して入れ込みます。そばで立ちすくんで「あの～やってもいいけど、そこには入れないでほしいんですけど・・・」とつぶやく数人の年長さんに成長を感じました。「先生、水汲んできてよ！」といばってジョウロを差し出す小さい子に「やってあげるわ」と、ジョウロを持って水道に走るやさしい年長さんも見えます。やりたい放題の年少さんを追っかける先生達、「あれあれ」「どれどれ」・・・の日々ですが、大丈夫！こどもは、「やってみたい」「かまってみたい」「まねしてみたい」の意欲と関心で不安なちょっと弱虫な自分をどんどん変えていきます。集団生活への第一歩。明るく応援していきましょうね。在園のお兄さんお姉さんは、遊びなれて、動きも活発。小さい子のお手伝いも良くしてくれ、大助かりだよ。さあ、この一年、みんなと先生といっぱいあそぼぞ！



みんなで遊ぶと
たのしいね！



神戸大学の発達科学部教授の広木 克行先生は、乳幼児期は五感を発達させて感性を豊かにする時です。風のそよぎ、雨や土、木や花、泥んこあそび、など、実際に身体を動かして人や自然と係わることが大事です。又、足のつま先から手の指まで、自分のイメージ通りに動かせる身体作りをしましょう。人間には、発達の順番があります。こどもが文字や言葉を獲得する以前にこそ運動や感覚の諸器官の発達を！脳の発達だけを切り離して考えるのではなく、子どもは体や心の発達と結びつけてとらえる事が大事です。・・・とされています。

ポエム

はじめて小鳥が飛んだとき

原田 直友

森はしいんとしずまった
木々の小えだが手をさしのべた

うれしさと不安でことりの小さなむねは

どきんどきん大きくなっていた

「心配しないで」とかあさん鳥が

やさしく肩をだいてやった

「さあ、おとび」ととうさん鳥が

ぽんと一つかたをたたいた

はじめて小鳥がじょうずに飛んだとき

森ははく手かつさいした

